

各種大会における弾道ミサイル発射に係る対応について

山梨県小中学校体育連盟 ハンドボール専門部

1. Jアラート活用した緊急情報が発信された場合の行動例

	状況	学校・家庭の対応	備考
大会前	ミサイル情報の発信	情報を発信したら直ちに身の安全を図る行動をとる（爆風による被害を避けるため頑丈な建物内や地下へ避難する。できない場合は地面に伏せ頭部を護るか窓のない部屋へ移動する）	全て県小中体育連盟事務局と連絡を取り合う中での判断とする。 電話及びメール等を待たずに警報にて判断する。
	緊急情報対象地域に含まれている場合（ミサイル着弾する場合）	大会への移動を見合わせ自宅等建物内で安全を図る行動をとる。自動車の車内にいる場合は車を止めて頑丈な建物や地下などに避難する。	連絡ができる場合には電話及びメール等で配信する。
	安全が確認されない場合	自宅等、建物の中か地下で避難を続け情報収集に努める	連絡ができる場合には電話及びメール等で配信する。
	着弾も影響が少ない・警報解除の場合	状況によっては屋内での活動の制限を行うなど万が一に備える	
大会中	緊急情報対象地域に含まれている場合（ミサイル着弾する場合）	全ての活動を停止し、生徒を安全な場所へ避難させる。 できるだけ窓から離れできれば窓のない場所に避難を促す。	連絡ができる場合には電話及びメール等で配信する。保護者も自身の安全を図る。
	警報解除後、影響のない場合	通常通りの活動とする。	メールなど配信は行わない

2. ミサイルが着弾した場合の行動例

【近くにミサイルが着弾した場合】

- ・ウォーミングアップ等で外にいた場合は、口と鼻をハンカチ等で覆いながら、現場から直ちに離れ近くの屋内施設に避難する。
- ・体育館内は窓やドアを閉め目張りをして室内を密閉する。

◎情報収集に努め行政からの指示があればそれに従って落ち着いて行動する。

3. 大会開催及び大会再開の判断

- ・完全に安全が確保されたことを確認し、大会開催と再開の判断を県小中体連事務局と連絡を取り判断する。